

新報

島根県教育庁
隠岐教育事務所
隠岐の島町港塩口24
電話2-9772

年頭所感

所長 吉田貴弘

令和三年が始まりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念されるところでありますが、本年も皆様方にとりまして幸多き年となりますよう心よりお祈りいたします。

先日、ある雑誌の中に新人の島根県職員の方の記事が掲載されているのを目にしました。その方は、コロナ禍の中、様々な会議や打ち合わせがSNSを通じて行われている現状について次のように受け止めていました。それは、直に相手と向き合って話し合いを進めることは大切なことであると理解している。しかし、SNSを活用した会議等は近い未来に行われるであろう

うことであり、それがコロナ禍によって今、実現されていることに他ならない。自分が必要な時に電話ではなく、すぐに相手とSNSを通じて打ち合わせができることの良さを実感している。未来を今、先取りできていると考えれば、それを用いるかのように職務に活用するかを考えることの方が、夢が広がるといった内容でした。

「未来を今、先取りできている」という発想の転換が、私はとても深く感じました。自分の未来をどう描くか。子供たちの自らの人生と地域や社会の未来を切り拓くために必要となる「生きる力」を育むために島根県教育委員会は、今年度「しまね教育魅力化ビジョン」を作り、教育の魅力化に取り

組んでいます。子供たち一人一人の学びに向かう意欲を引き出しながら、「学びの支えを築く（知識・技能）」「深め広げ豊かにする（思考力・判断力・表現力等）」「人生や社会に活かす（学びに向かう力・人間性等）」の三つの要素を相互に関連させ「生きる力」を育成するというものです。

「しまね教育魅力化ビジョン」の基本理念は、「ふるさと島根を学びの原点に未来にはばたく 心豊かな人づくり」です。この基本理念のもと、次の三つの具体的な育成したい人間像が示されています。

一つ目は、「自ら課題や展望を見いだし、粘り強く挑戦し学ぶ人」です。基礎的な知識・技能を身に付け生かす力を身に付けるなど「学力を育む」ことを大切にします。

二つ目は、「人とのかかわりやつながりを大切にし、新たな社会を創造する人」で

す。多様な人と合意形成を図り、物事を進めていく力を身に付けるなど「社会力を育む」ことを大切にします。

三つ目は、「自然や文化を愛し、自他を共に大切にす

る優しく強い人」です。人々や地域に感謝し、誰もが心地よい居場所を作ろうとする力を身に付けるなど「人間力を育む」ことを大切にします。

この教育の魅力化を進めることは、「子供たちがもっと学びたい教育、保護者が学びせたい教育、地域が応援したい教育、教職員の個性や主体性・多様性が生かされる教育」の実現につながります。地域に愛着と誇りを持ち、将来、地域や社会の役に立ちたいという人づくりを進めていくためには、学校だけでなく、保護者や地域の皆様の温かいご支援が何より必要です。教育の魅力化による次代を担う人づくりのために、これまで

同様、ご支援をよろしくお願ひいたします。

余談ですが、先日、ある会合で高校生から名刺をいただきました。話を聞くと、現在、保護者の理解のもと、高校を休学して一年間、企業体験を行っているとのことでした。「私はこの隠岐の地域で何ができるのか、何がしたいのかを追究したい。そして、高校卒業後、自分の進むべき道を見つけた

い。」という語った高校生に書面ではありますが、心からエールを送りたいと思います。

「給与明細に関心を」と

一月の給与は、年末調整の結果が反映されて税金の還付があったり、昇給で基本給が増えたりと、ちよつと楽しみな人が多いです。

わたしぶね

給与明細に関心を



基本給のほか様々な手当てや引き去りも含め、その計算と支払い手続きには所属校を初め、教育事務所、教育庁総務課、総務事務センターなど多数の機関が関わり、コンピュータや関係職員でチェックされていますが、自身での明細確認に勝るものではありません。

共済、互助会、学校引落分なども含め、自身の明細をチェックして「これって何のお金？」と思ったら、早めに確認しましょう。

万が一、間違いがあった場合も未払分は二年で時効となりますので、早く気づくことは大切です。ちなみに過払分の返還は最大十年まで遡って請求されます。

お金には興味ないの...という人はいませぬよね。
(総務課 佐藤)

